

## 新戦略の領域体系と重点課題のイメージ

現行戦略と同様、あるべき持続可能社会を4つの方向から設定する（①脱温暖化社会、②循環型社会、③自然共生型社会、④安全が確保される社会）が、持続可能な社会の実現には、4つをばらばらに目指すのではなく統合的な取組が必要であることから、横断領域における重点課題を明確に設定することとする（例：複数領域に同時に寄与するWin-Win型の研究開発、複数領域間のトレードオフを解消する研究開発）。

領域と重点課題のイメージ図を次ページに示す。重点課題のイメージは、資料2の観点や現戦略F Uにおける指摘等により暫定的に例示しているものであり、今後、本委員会での議論をもとに、WGにて具体化していただくこととする。

なお、現行戦略における「安全・安心で質の高い社会」については、包含する課題をより明確に示す名称として「安全が確保される社会」と変更することとする。ここで安全とは、科学性と中立性を基盤として確保されるべきものである。

<参考：現戦略F Uにおいて4つの領域ごとに「一層の進展が必要」等とされた研究・技術開発の概要>

### ①脱温暖化社会

- 政策研究（制度設計・導入タイミング・影響評価、国際枠組等）、ライフスタイル・意識研究
- 温室効果ガスモニタリング、データ評価、インベントリ、気候変動予測（高精度化等）
- 適応策の具体化（緩和策と車の両輪）
- 低炭素技術開発（社会受容性等も踏まえたシステムの最適化）

### ②循環型社会

- 政策研究、LCA手法を社会システムに反映させる研究
- 処分場の現状把握、管理に係る研究
- 漂着ごみの効率的な回収・処理方策に係る研究

### ③自然共生型社会

- 水循環等と生態系データの統合化、生態系データベースの構築
- 気候変動適応策

### ④安全・安心で質の高い社会

- 有害性未解明な物質等（低周波音等含む）の影響評価
- ヒトの発達段階における感受性の変化を考慮したリスク評価研究
- リスク意識の研究